

# 第5学年社会科学学習指導案

令和4年6月2日(木)  
第5学年3組32名  
授業者 佐藤将宏

## わくわく・どきどき・チャレンジ蔵前

目指す児童像

他者と協働することで、多様な考えに触れ、学びを深める子

1 単元名 低い土地の暮らし (6時間)  
(東京書籍 5年上)

### 2 単元の目標

- 我が国の国土の様子と国民生活について、各種の資料で調べ、まとめながら、自然や地形の条件から特色ある地域の人々の生活を捉え、その関連を考え、表現することを通して、人々は自然環境に適応して生活していることを理解するとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

### 3 単元の評価規準

知識・技能	・国土の様子と国民生活について各種資料などから、必要な情報を集め、読み取り、低い土地の人々が自然環境に適応しながら生活していることを理解している。
思考・判断・表現	・調べたことを図表や文などにまとめ、低い土地の自然環境の特色と人々の生活や産業を関連付けて考え、表現している。 ・友達の考えから、自分の考えを広げたり、まとめ直したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	・低い土地の人々の生活について、予想や学習計画を立てたり、振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

### 4 児童の実態

略

# 略

## 5 単元について

本単元は、学習指導要領の内容(1)ア(イ)「我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解すること」及び(ウ)と(1)イ(イ)「地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現すること」に対応している。

本単元は、自然環境に特色のある地域として低い土地(岐阜県海津市)を取り上げ、どのような工夫や努力をして、自然環境の特色に適応しながら生活をしてきているのかについて学習する。海津市は、木曾川・長良川・揖斐川の3つの川に挟まれていることや、海拔0メートル以下の平らな土地が広がっていることなどから、水害が起きやすい地域である。その中で、人々の工夫や努力により水害を防いできたことや、豊かな水を生かし、農業や観光などを発展させ、よりよい暮らしを作り上げていったことを理解させたい。また、自然環境の特色に適応したくらしは、自分たちの地域でもどのように生かされているかにも関心を広げていく。

## 6 研究主題に迫るための手立て

「他者と関わり協働する力」を向上させるための工夫

### 手立て① 友達と関わり合い学び合う学習活動の工夫

- ・自分の考えをもちやすくするために、資料を課題のテーマ別に分けて提示する。
- ・自分の考えをもってから、友達と関わり合わせることでより主体的な関わりをもてるようにする。
- ・自分が調べたことを友達に伝えながら学習を進める「蔵前版ジグソー法」を行うことにより、より主体的に学習に関わっていけるようにする。

蔵前版ジグソー法 ① 4人グループ作り ② エキスパートタイム(個人) ③ エキスパートタイム(交流) ④ ジグソータイム(交流)
---

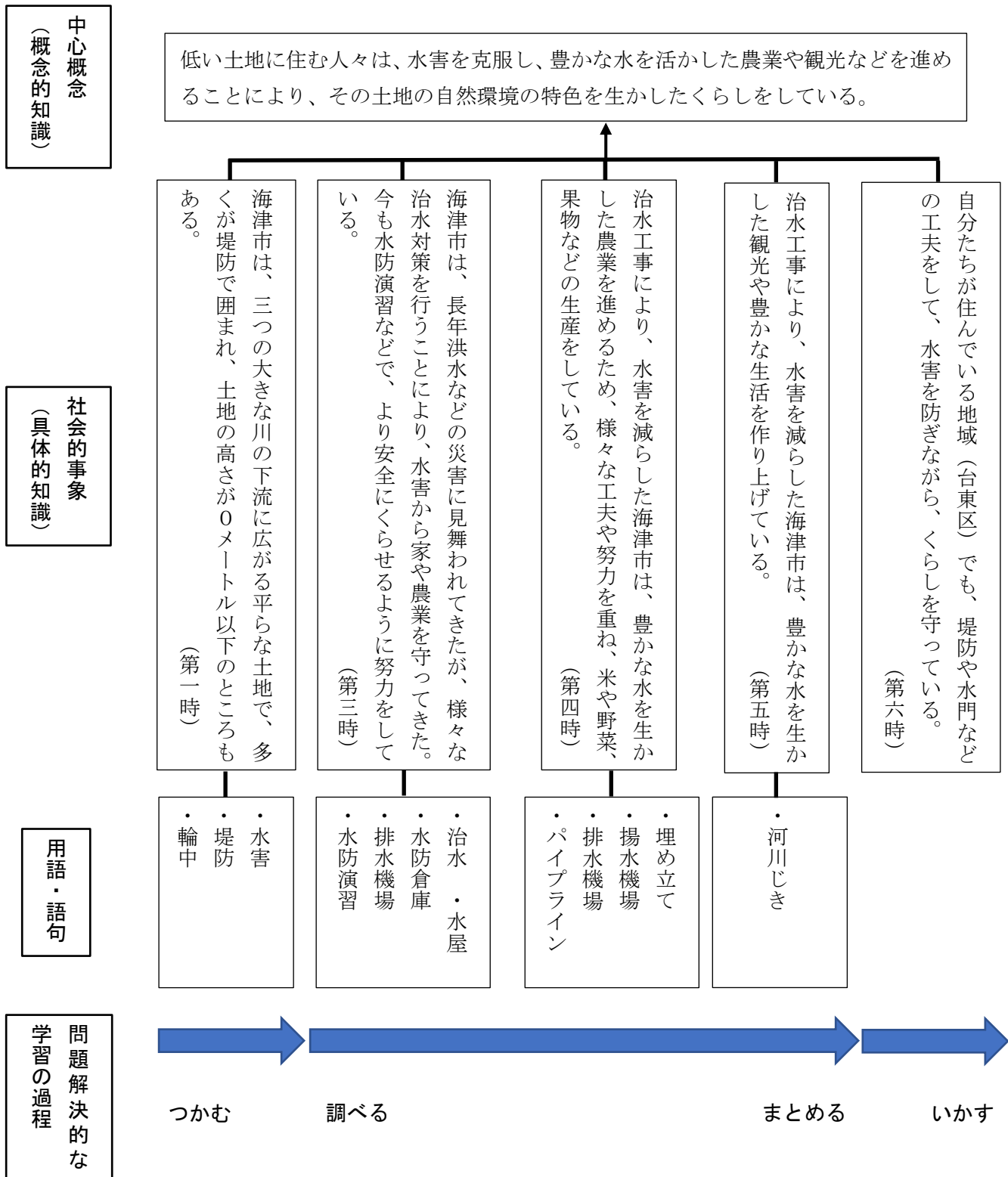
### 手立て② 問いの工夫

- ・単元の始めに、その土地の地形や気候の特色から児童が自ら学習問題を立てて、主体的に学習に取り組むようにする。(理解の問い)
- ・学習問題に対して、個々に予想を立てさせてから問題解決に取り組ませる。(方略の問い)
- ・低い土地に住む人々のくらしと自分たちのくらし(台東区)を比べながら、内容への関わりをより深められるようにする。(関連の問い)
- ・学習問題に対して、分かったことや気付いたことを基に、自分の考えをまとめさせる。(振り返りの問い)

### 手立て③ ICT活用の工夫

- ・スカイメニューの発表ノートを活用し、それぞれのグループで調べたことを共有することで、自身のグループに調べたことを紹介しやすくする。

7 構造図



8 指導計画（本時は4/6）

時	○主な活動内容 ・児童の反応	◎指導上の留意点 □評価 ・手立て
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     海津市の土地の様子や人々の生活について考え、学習問題を作ろう。                 </div> <p>○海津市の航空写真と地図から、その土地の様子を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな川が流れている。</li> <li>・堤防がある。</li> <li>・田んぼが広がっている。</li> <li>・戸建てが密集している。</li> <li>・川の上を電線が通っている。</li> </ul> <p>○学習問題を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川よりも低い土地で暮らしていて、心配なことや苦労は何だろう。</li> <li>・どうして、低い土地で暮らしているのだろう。</li> <li>・どのような暮らしをしているのだろう。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">                     輪中に住む人々は、どのような工夫をして暮らしているのだろう。                 </div>	<p>◎土地の高さの地図を活用し、0mよりも低いところに色を塗るなどして、海津市の土地の高さに着目しやすくさせる。</p> <p>◎航空写真から、海津市に住む人々の生活は、川と密接に関係していることに気付かせる。</p> <p>◎周囲を堤防で囲み、共同で水防組織を築いた地域を輪中ということを確認する。</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">主</span>資料から海津市の地形に着目して、予想や学習問題を立てている。</p> <p>・手立て②</p>
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     学習の進め方を確認しよう。                 </div> <p>○「つかむ→調べる→まとめる（振り返り）→いかす」という学習の流れを知る。</p> <p>○調べる方法を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書、地図帳、資料集、（インターネット、本、新聞、インタビュー、見学など）</li> </ul>	<p>◎調べる学習では、単に資料だけを写すのではなく、そこから読み取って自分の考えをもつことが大切であることを伝える。</p> <p>◎まとめる（振り返り）では、分かったり、気付いたりした事実を基に、自分の考えをもつようにすることを伝える。</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">主</span>学習の進め方を知り、学習問題を解決する見通しをもっている。</p>

輪中に住む人々は、水害から生活をどのように守ってきたのだろう。

- 海津市は、長年水害に悩まされてきたことを知る。
  - ・どのようにして、生活してきたのだろう。
  - ・堤防を作ったのかな。
    - 治水を通して、輪中を減らし、防災を進めてきたことを知る。
- ほかにもどのような工夫や努力（備え）をして、水害から身を守ってきたのか考える。
- 問いについて予想し、調べる見通しをもつ。
  - ・堤防を作っているから安心。
  - ・避難訓練をしている。
  - ・高いところに家を作る。
- 「蔵前版ジグソー法」で資料を読み取り、自分の考えをもつ。
  - A：水屋について
    - ・家よりも高いところにあり、洪水が起こっても水に浸かることがない。
  - B：水防演習、水防倉庫について
    - ・洪水の被害を少なくすることができる。
    - ・洪水が起こった時の備えができている。
- 考えを交流し、まとめる。
  
- 学習の振り返りをする。

◎教科書P27資料⑤のグラフ、昔の川の様子の写真を提示し、1901年～1950年に急激に水害が減っているところから、どのような工夫や努力をして減ってきたのかへの関心を向けさせる。

◎高須輪中の洪水時の写真を提示し、水害を防ぐための方法を考えやすくする。

◎「蔵前版ジグソー法」の流れを確認する。

◎単に行っている工夫や努力だけでなく、その仕組みや利点についても考えさせるようにする。

◎調べ学習が早く進んでいる児童には、教科書、資料集以外の資料も活用してよいことを助言する。

**知**資料を読み取り、水害への対策や備えを工夫し、土地の特色を生かした暮らしをしていることを理解している。

◎調べて分かった事実（根拠）を基に、自分の考えをまとめられるように助言する。  
・手立て①②③

<p>4 (本時)</p>	<p>輪中に住む人々は、どのような工夫をして、農業をしているのだろう。</p> <p>○教科書の絵や写真から、昔の農業の様子をつかむ。</p> <p>○問いについて予想し、調べる見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・埋め立てる。</li> <li>・大きな機械を使っている。</li> <li>・水を減らす。</li> </ul> <p>○「蔵前版ジグソー法」で資料を読み取り、自分の考えをもつ。グループでまとめる。</p> <p>A：埋め立てについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水はけがよくなった。</li> <li>・大型の機械を使って農業ができるようになった。</li> </ul> <p>B：揚排水機場について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水はけがよくなって、必要な時に必要なだけの水が使えるようになった。</li> <li>・豊かな水が使えるようになったので、米以外にもたくさんの野菜や果物なども作れるようになった。</li> </ul> <p>○考えを交流し、まとめる。</p> <p>○学習の振り返りをする。</p>	<p>◎教科書の資料から、昔の稲作の苦労や大変さを読み取るとともに、豊かな水を有効に使う工夫についても関心を向けられるようにする。</p> <p>◎単に行っている工夫や努力だけでなく、その仕組みや利点についても考えさせるようにする。</p> <p>◎調べ学習が早く進んでいる児童には、教科書、資料集以外の資料も活用してよいことを助言する。</p> <p><b>知</b>資料を読み取り、豊かな水を農業に生かす工夫について理解している。</p> <p>◎調べて分かった事実（根拠）を基に、自分の考えをまとめられるように助言する。</p> <p>・手立て①②③</p>
<p>5</p>	<p>輪中に住む人々は、豊かな水をどのように生活に生かしているのだろう。</p> <p>○問いについて予想し、調べる見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・船を使った観光。</li> <li>・キャンプ、釣り。</li> <li>・そばや魚料理。</li> </ul> <p>○資料を読み取り、自分の考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な観光の施設がある。</li> <li>・川魚などその土地の特色を生かした料理がある。</li> <li>・輪中のことを調べる施設がある。</li> </ul> <p>○考えを交流し、まとめる。</p> <p style="text-align: center;">自然環境の特色に合わせた生活や観光などの工夫がある。</p>	<p>◎これまでの資料を活用したり、自分たちの地域で行っていることなども考えさせたりしながら予想させる。</p> <p>◎自然環境の特色を生かした工夫をしていることに着目させる。</p> <p><b>知</b>資料を読み取り、豊かな水を生活や観光に生かしていることについて理解している。</p> <p>・手立て①②</p>

6

自分たちが住む地域では、自然環境の特色を生かして、どのような工夫をして生活しているのだろう。

○台東区の地形の特色を調べる。

- ・川に囲まれている。
- ・隅田川沿いは、堤防がある。
- ・荒川には、排水機場がある。

○どのような工夫があるか話し合う。

- ・早慶レガッタ
- ・花火大会
- ・隅田川テラス
- ・水上バス、屋形船

○挙げられた工夫について、詳しく調べ、紹介のミニポスターを作る。

◎輪中に住む人々と自分たちが住む地域と比較をしたり、これまでの学習から学んだことを視点としたりしながら調べるよう助言する。

☞自分たちが住んでいる台東区での、豊かな暮らしをしていく工夫や努力について考えている。

- ・手立て①

自分たちが住む地域でも、自然環境の特色に合わせたくらしの工夫がある。

9 本時の学習（4/6）

（1）目標

- ・輪中に住む人々は、水はけをよくし、揚排水機場やパイプラインの設置など水の管理を工夫し、豊かな水を生かした、大規模な農業ができるようになったことを理解する。

（知識及び技能）

（2）展開

	学習活動 (○学習内容・予想される児童の反応)	◎指導上の留意点 □評価 ●資料
導入 (つかむ)	1 本時のめあてを確認する。 ○教科書の絵や写真から、昔の農業の様子をつかむ。 ・人が手で植えている。 ・腰まで水につかっている。 ・大変そう。  ○本時のめあてを確認する。 輪中に住む人々は、どのような工夫をして、農業をしているのだろう。	●昔の稲作の絵、埋め立て前の水田の写真 ◎教科書の資料から、昔の稲作の苦労や大変さを読み取るとともに、豊かな水を有効に使う工夫についても関心を向けられるようにする。
	○問いについて予想し、調べる見通しをもつ。 ・埋め立てる。 ・大きな機械を使っている。 ・水を減らす。	●埋め立て後の水田の写真 ◎昔と今の写真から、水田の様子の変化に着目させる。
展開 (調べる)	2 めあてについて資料を基に調べる。 ○蔵前版ジグソー法で調べ学習をする。 ①4人グループを作る。 ②2つのテーマに分かれて、それぞれの資料を基に調べ、個人でノートにまとめる。 (エキスパートタイム (個人)) A：埋め立てをするよさ ・水はけがよくなった。 ・大型の機械を使って農業ができるようになった。 B：揚水機場、排水機場をするよさ ・水はけがよくなって、必要な時に必要なだけの水が使えるようになった。 ・豊かな水が使えるようになったので、米以外にもたくさんの野菜や果物なども作れるようになった。 ③エキスパートタイム (個人) で調べたことを基に、同じテーマで調べたメンバーでグループを作り、自分が調べたこと (ノートに書い	●A：昔と今の水田の様子 B：揚排水機場・用水路と排水路の図 ◎単に行った工夫や努力だけでなく、その利点やそこにある人々の思いにも着目させる。  ◎調べ学習が進まない児童には、それぞれの資料から昔と今の違いについて着目するよう助言する。 ◎調べ学習が早く進んでいる児童には、教科書、資料集以外の資料も活用してよいことを助言する。 ◎自分の考えに自信がもてるよう、机間指導を通して、即時評価をする。  ◎必ず全員が自分のまとめたことを伝えるように助言する。 ◎キーワードについて発表ノートにまとめる



	<p>たこと)を交流する。話し合ったことを発表ノートにまとめる。(エキスパートタイム(交流))</p> <p>④エキスパートタイム(交流)でまとめたことを、はじめのグループに戻り、紹介する。(ジグソータイム(交流))。</p> <p>○それぞれのグループの共通点を見付け、学習問題に対してのまとめをする。</p>	<p>よう助言する。</p> <p>◎必要に応じて、自分のノートに書き足すよう助言する。</p> <p>◎教科書資料を活用し、稲作だけでなく、他の作物も取れるようになってきていることから、水を有効に活用したよさについてさらに考えを広げる。</p> <p>●農産物の作付面積のグラフ</p> <p>知資料を読み取り、豊かな水を農業に生かしていることについて理解している。 (観察・ノート記録・発言)</p>
<p>まとめ(まとめる)</p>	<p>4 学習の振り返りをする。</p>	<p>◎本時の学習で「わかったこと、気付いたこと、考えたこと、これから調べたいこと」を中心に振り返るよう助言する。</p> <p>◎自然環境に適応するための工夫や努力とともに、そこに住む人々の思いも考えさせる。</p>

## 10 板書計画

<p>6/2 (木)</p> <p>○めあて</p> <p>輪中に住む人々は、どのような工夫をして、農業をしているのだろう。</p> <p>70年ほど前の田植えの様子</p> <p>○どのような様子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人が手で植えている。</li> <li>・腰まで水につかっている。</li> <li>・大変そう。</li> </ul> <p>○予想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・埋め立てる。</li> <li>・大きな機械を使っている。</li> <li>・水を減らす。</li> </ul>	<p>A:埋め立て 写真</p> <p>A:埋め立てについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水はけがよくなった。</li> <li>・大型の機械を使って農業ができるようになった。</li> </ul>	<p>B:揚排水機場 写真</p> <p>B:揚排水機場について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水はけがよくなって、必要な時に必要なだけの水が使えるようになった。</li> <li>・豊かな水が使えるようになったので、米以外にもたくさんの野菜や果物なども作れるようになった。</li> </ul> <p>蔵前版ジグソー法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 4人グループを作る。</li> <li>② エキスパートタイム(個人)</li> <li>③ エキスパートタイム(交流)</li> <li>④ ジグソータイム(交流)</li> </ol>
---	---	---